

進路だより

〈第4号〉

令和4年7月20日発行

須賀川創英館高等学校進路指導部

須賀川創英館高等学校としてスタートした1学期も今日で終わり。明日からは、夏休みですが、3年生にとっては勝負の夏！計画的に動いていきましょう。1・2年生も課外や課題への取り組みをしっかりと行いましょう。

現在の求人状況

進路室では7月1日の求人票公開以来、毎日いろいろな企業が来校しています。7月12日現在届いた求人票は、県内約300社、県外約150社で、昨年の同時期に比べると県内は2倍、県外は3割程度増えています。入社試験は、面接のほかに適性検査や学科試験などを課す会社が多いので、1・2年生は、今からしっかり基礎学力をつけるとともに、さまざまな活動に意欲的に取り組んでおきましょう。多くの企業の方は「やる気があり、明るく元気でコミュニケーション能力が高い」生徒を採用したいとお話してきます。また、職種によっては、採用後も試験があるため、勉強が好きで真面目な人、体力に自信がある人などとおっしゃることもあります。就職希望の3年生については、夏休みに職場見学をして、求人票だけではわからない会社の仕事内容や勤務条件を確認し、自分に合った会社かどうか判断してください。企業では、将来にわたって長く勤めてくれる人を希望しています。また途中退社を繰り返すと収入や昇進に不利だけでなく、次第に希望に合った仕事を見つけにくくなりますので、一度就職したら長く勤められるような職場を見つけることが大切です。そのためには、やりがいのある仕事内容で自分の適性に合っているか、会社内が働きやすい職場環境になっているかなどをしっかりと観察してきましょう。

進学情報

進学希望者については、大学や専門学校などから学校推薦型選抜や一般選抜などの入試要項が次々と届いています。7月12日現在までにいただいた指定校の数は、大学95校・短期大学36校・専門学校134校です。3年生には、昨日一覧票を提示しましたので、条件等をしっかりと確認してください。推薦入試の場合、小論文を課す学校が多く見られます。夏休みのうちに自分が専攻したい分野のニュースや話題を調べたり、関係する本を読んだりしておきましょう。指定校推薦の出願は、

10月から11月ごろに行われますので、3年生は夏休みが明けると出願の準備で慌ただしくなります。落ち着いて本を読んだり調べものをしたりできるのは夏休みだけです。小論文の材料をたくさん集めてください。また、推薦入試では「志望の理由」を明確に示すことが求められます。目的意識の高さが可否を左右する重要なポイントです。自分の言葉でしっかり表現できるようにしておきましょう。

小論文を書くために読んでおきたい本

書名・著者名・出版社の順で表記してあります。参考にしてください。

〈医療・看護系〉「新型コロナウイルス ナースたちの現場レポート」(日本看護協会出版編 日本看護協会)「在宅医療の真実」(小豆畑丈夫 光文社新書)「ケアとは何か」(村上晴彦・中央新書)

〈理系〉「ポストコロナの生命哲学」(福岡伸一・伊藤亜紗・藤原辰史 集英社新書)「生物はなぜ死ぬのか」(小林武彦 講談社現代新書)

〈人文系〉「問いの立て方」(宮野公樹 ちくま新書)「利他とは何か」(伊藤亜紗編、中島岳志・若松英輔・國分功一郎・磯崎憲一郎著 集英社新書)「批評の教室—チョウのように読み、ハチのように書く」(北村紗衣 ちくま新書)

〈法学系〉「人権と国家—理念の力と国際政治の現実」(筒井清輝 岩波新書)

〈教育系〉「教育論の新常識」(松岡亮二 中公新書ラクレ)

〈経済系〉「日本の食と農業の未来—『持続可能な食卓』を考える」(小口広太 光文社新書)「地域学入門」(山下祐介 ちくま新書)「ファッションの仕事で世界を変える—エシカル・ビジネスによる社会貢献」(白木夏子 ちくまプリマー新書)

〈社会学系〉「パンデミック監視社会」(ディビット・ライアン ちくま新書)「正義を振りかざす『極端な人』の正体」(山口真一 光文社新書)

〈法学系〉「人権と国家—理念の力と国際政治の現実」(筒井清輝) 「1990年代論」(大澤聡 河出ブックス)

〈福祉系〉「ヤングケアラー 介護を担う子ども・若者の現実」(澁谷智子 中央新書)「8050問題の深層」(川北稔 NHK出版新書)

〈国際・学際系〉「つながり続ける こども食堂」(湯浅誠 中央公論社)「13歳からの地政学入門カイズクとの地球儀航海」(田中孝幸 東洋経済新報社)

〈スポーツ・美術系〉「新装版『遊ぶ』が勝ち」(為末大 中公新書ラクレ)「芸術人類学講義」(鶴岡真弓 ちくま新書)

〈その他〉「完全版 チェルノブイリの祈り—未来の物語」(スヴェトラーナ・アレクシエーヴィチ 岩波書店)

【小論文を書くために読んでおきたい本 | 学研模試より】